

令和5年度7月期古賀市社会教育委員の会議 議事録

- 【 会議名称 】 令和5年度7月期古賀市社会教育委員の会議
- 【 日 時 】 令和5年7月19日（水） 18時30分～20時00分
- 【 場 所 】 リーバспラザこが交流館 103洋室
- 【 主な議題 】 笑顔のつどいの打ち合わせ
第3次古賀市生涯学習基本計画策定
- 【 出席委員 】 井浦議長、角森副議長、村山委員、橋爪委員、砥上委員、
倉掛委員、石川委員、山本委員（以上委員8名）
- 【 欠席委員 】 丸井委員
- 【 事務局 】 生涯学習推進課長、村上参事補佐、平川、田原、八木
- 【 傍聴者数 】 0名

【 配布資料 】

(0)－①レジュメ

～笑顔のつどいの打ち合わせ～

(1)－①各パネリストとの協議の進捗状況

～第3次古賀市生涯学習基本計画策定～

(2)－①6月会議でのワークショップの結果

(2)－②第2章 生涯学習の柱・たいせつな視点

【次 第】

1. 開会あいさつ

2. 協議事項

(1) 笑顔のつどいの打ち合わせ

〔資料(1)－①〕

- ◇ 各担当から発表者との協議の進捗状況

(2) 第3次古賀市生涯学習基本計画策定

〔資料(2)－①〕

- ◇ 第2章 古賀市におけるこれからの生涯学習・社会教育振興
2. 古賀市がめざす生涯学習

〔資料(2)－②〕

- ◇ 第2章 古賀市におけるこれからの生涯学習・社会教育振興
3. 生涯学習振興にたいせつな視点

3. その他

(1) 各委員から

- ◇

(2) 事務局から

- ◇ 令和6年度福岡ブロック社会教育委員研修会 実施要領(案)
- ◇ 福岡ブロック社会教育委員研修会 令和5年10月13日
- ◇ 九州ブロック社会教育委員研修会 令和5年11月9～10日

(3) 次回開催日程決め

4. おわりの言葉

【 会議内容 】

1. 開会あいさつ

2. 協議事項

(1) 笑顔のつどいの打ち合わせ

〔資料(1)－①〕

◇ 各担当から発表者との協議の進捗状況

(井浦議長)

各担当から発表者との協議の進捗状況を報告をお願いします。

(橋爪委員)

中野恭子氏と 6 月末に打ち合わせを行い、笑顔のつどいの目的と流れを確認と話してほしいテーマをお伝えした。7 月末までにある程度原稿を作って提出いただき、夏休みに入ってからまた中野恭子氏と原稿の確認と打ち合わせをする予定。

(村山委員)

前回の会議でお話ししたところでストップしていて、まだお話にも行っていない状況。今 7 月末提出とのことだったので、早速打ち合わせを行いたい。もう少し今頂いている情報以外にも当日に向けての段取りを教えてもらえると助かる。

(砥上委員)

内容については多分大丈夫だと思うと言われた。去年の DVD と冊子に少年の船のまとめ等があるので、それを参考にされると思っている。ご本人が結構悩んであったのは、コロナ渦での行事の遂行について。まさにコロナの影響を受けた行事だったので、それをどこまで、どのように話せばいいんだろうと言われていた。

(井浦議長)

コロナの感染というよりもやはり少年の船の運営をコロナ渦でもされて、子供たちにどんな変容があったかになってくると思う。今までの子供たちと今回 OB の子供たちがスタッフとして関わる。その形の状況を話していけたらどうかと思う。

(砥上委員)

終わって保護者とも話したが、どこからもクレームのようなことはなく、みんないい経験をしたとのことだった。改めて、平和を考えるいい機会となり、沖縄の自然や、地域交流を肌で体験して、すごく価値ある体験だと思っているので、アピールする内容はいくらかでもある。

(井浦議長)

今後のスケジュールについては、原稿の締め切りをいつにするのか。

それを基に橋爪議員との打ち合わせをどの時期に設定するのか。

そして、最終リハーサルが前日になるので、その時期はどうか。

(事務局)

原稿の話があったが、手話の方に事前にお渡しするので、だいたい 1 週間前には最低でもいただきたい。

あと、パンフレット用の写真が必要なので、例えば、打ち合わせの日を教えていただいたら、その日にこちらが撮りに伺う。もしくは、すでにいい写真があれば、送ってもらいたい。

あと、当日の資料や、スクリーンで使用する写真があれば、1 週間前くらいにいただくと、手元資料の場合は印刷があるので助かる。

(橋爪委員)

8 月のお盆明けくらいに原稿ができて、その次の週の 8 月 26、27 日に打ち合わせができたなら、手話の方にも 1 週間前に送れる。登壇者の方と都合が合う日で打合せするのがいいと思うがどうか。

(井浦議長)

今お話がありましたが、まだ準備ができていないところも盆過ぎまでであればかなり時間はあると思う。

(砥上委員)

例えば、もう 1 週前にして 10 日ぐらいまでに原稿を作成してもらおう。上がってくれば、橋爪委員も見て、イメージを作った上で、21 日の週に調整ができれば。

(橋爪委員)

そうですね。では、原稿は 8 月 10 日くらいで、21 の週に打ち合わせを 1 時間ほどする。

(事務局)

今のスケジュールを箇条書きにしたものを会議が終わった後に送らせていただく。

(村山委員)

原稿を書いたあと、音読してもらって時間内になるよう確認してもらったほうがいいか。

(事務局)

交流の時間をかなり長くとっているので、多少オーバーしても少し早めに終わっても大丈夫。

(事務局)

日付が決まったらリーパスプラザで会議室を取る。

(橋爪委員)

21日の週で都合がいい日を複数挙げていただきたい。

時間帯は6時頃で。土日は終日大丈夫。

(村山委員)

パネリスト3人とも同じ日に打ち合わせをしたほうがいいか。

(橋爪委員)

どうしても日程調整が難しければ、2人か1人に分けて行うこともできる。

複数希望日を挙げていただく。

(村山委員)

打ち合わせの進め方についてはどうなるか。

(橋爪委員)

打ち合わせの流れは、事前に私が原稿を見て聞きたいことを複数挙げて尋ねる。

話が膨らみそうな内容で当日聞くことを決めて伝える。

リハーサル当日は私が不在なので、リハーサルでは、別の方が代わりに質問してくれたらいい。

(井浦議長)

原稿も箇条書きじゃなくて可能な限り読み原稿にさせていただけると手話の方がやりやすい。

(事務局)

資料があれば、早めにもらいたい。写真やムービーがあれば、スクリーンに写せるよう調整する。

(村山委員)

資料はムービーでもいいしお配りするプリントでもいいか

(事務局)

参加者のお手元にあったほうがいいのか画面に映したほうがいいのかなどあると思うので、どちらでも大丈夫。

(井浦議長)

例えば2分間のうち、1分映像で1分説明をしてもいい。
地域の活動の映像を映してその説明をすることもできる。

(事務局)

笑顔のつどいのチラシについて。
このチラシを民生委員に周知して来週校長会に出してもらおう。8月の初めに区長会でもお渡しする。広報の8月号にも掲載している。

(2) 生涯学習基本計画策定

[資料(2)-①]

◇ 第2章 古賀市におけるこれからの生涯学習・社会教育振興

2. 古賀市がめざす生涯学習
3. 生涯学習振興にたいせつな視点

(事務局)

生涯学習基本計画の第2章の2. 古賀市が目指す生涯学習と3. 生涯学習振興にたいせつな視点を、ワークショップ形式で話し合っていた。
資料の説明。

(井浦議長)

ご自身の発言、自分が聞いた発言がこの通りなのか、あるいはちょっと違っているのか、まとめられた文章がどうなのか。2分ほど時間を取るのを目を通してください。

(橋爪委員)

「仕掛け」以外は主語が「私」だが、「仕掛け」は主語が「私」ではない。
「仕掛け」が入ったときに果たしてサイクルとして回るのかどうかという印象を受けた。

(井浦議長)

「仕掛け」は市のほう。その違いを指摘されていますがいかがか。

(砥上委員)

私もそう思った。ニュアンスとしては「仕掛け」だけちょっと違う。

(村山委員)

古賀市の中でもいろんな活動があっっていて、その人達が輝くように行政も支援している。世の中が目まぐるしくなっているという意味で行政の方の指導が必要なこともある。そういう意味で「仕掛け」が入っていてもいいと思う。

(井浦議長)

自分からの発信が最終回。反対に行政として働きかけることが必要となってくる。

(村山委員)

「仕掛け」はサイクルの土台にもってきたらどうか。

(事務局)

今の意見をまとめるとサイクルの図の真ん中に「仕掛け」があっすべてにおいて仕掛ける矢印が出ているようなイメージだろうか。

(井浦議長)

真ん中でもいいし、一番下に別物として土台になる形も想像できる。

(倉掛委員)

「仕掛け」はどこのポイントにもつながっていて、機会やチャンスがあっ生涯学習が深まっっていくので「仕掛け」は必要なもの。

(井浦議長)

仕事をしている若年層や、外国の方も含めて、公民館の講座に参加しない人をどう巻き込むかはやはり「仕掛け」が必要なのではないか。

(山本委員)

背景に「仕掛け」があっ、サイクルが流れていく。真ん中というよりは、外枠を埋めていくイメージ。

(石川委員)

皆さんの意見を聞いていると仕掛けるところがスタートラインだと思う。
そこから繋がったり学んだりしていくから、何かを仕掛けてから、そこからスタートして
行って、みんなが興味を持つのでやはり「仕掛け」が土台だと思う。

(事務局)

3パターンのご提案をいただいて、土台として作ったらどうか、背景として作ったらどうか、真ん中に4つの視点を繋ぐように作ったらどうか。

全部作ってみて、その上でどういう表現がこの場にいない人にも通じやすいかをご覧いただいて、決定していきたいと思う。

次に5つの柱を作っている。「いつでも始められる」、「工夫豊か」、「つながり深まる」、「個性を磨く」、「やる気が高まる」

前計画では、3つの柱だったものを議論の帰着点として5つの柱に置きかえたもの。

この柱を軸にしてそれぞれどういう風な役割、どういう風な施策に結びついていくのか考えたい。

(井浦議長)

図については今もらった意見で、3パターンを準備してもらおう。

項目については、以上、この5項目をベースにというところで、文言中のところに意見はないか。

(村山委員)

サイクルの順番がすっかりこなくて皆さんの話を聞いていて、私も考えるのは、やはり繋がるということが最終目標な気がする。サイクルの順番は意味があるか。

(事務局)

説明が足りませんでした、「個の学び」、「仕掛ける」、「つながる」、「自己実現」、「高いモチベーション」というものは最終的には、文言としては、計画書の中から消えていく。計画書の中に載ってくるものは、4枚目。

4枚目の「自発性」、「協働・共働」、「充実」、「意欲」という4つのサイクル。

4つのサイクルと、それを支える「仕掛け」という、文言は残る。

それから、柱に使っている文言。「いつでも始められる」、「工夫豊か」「つながり深まる」「個性を磨く」「やる気が高まる」という文言も、残っていく。

1枚目にあるこのサイクルが計画書に載るということではない。

1枚目は6月期の、ワークショップで出た言葉をそのままあのサイクル上に落とし込んだ

もの。柱を作って、視点へのヒントを得ると最終的に4枚目の形になる。

(井浦議長)

3枚目と4枚目を見て、この言葉よりこっちの言葉がいいと思うものがあれば、そこに置き換えることもできると思う。

(村山委員)

私も「つながり深まる」と「協働・共働」はもう少し後ろの方がいいという印象。個人がいつでも始められて、そして個人でしていることが充実してきて、そして繋がっていく。「やる気が高まる」は個人のサイクルの1番最後にしてもいいと思う。

(橋爪委員)

社会教育の目的は自己実現なので、自己実現のための手段が「協働・共働」。サイクルのゴールも自己実現だと思う。ただ、サイクルなので順番は総合的に考えたらいいのではないか。

(井浦議長)

結局、4つになるとどこがスタートになるか。どうしても左上がスタートだなと思う。キーワードで抜き出しているのでパッと見た時にどう思われるのか。

(砥上委員)

柱の「個性を磨く」は少し違う。繋がったことと協働でみんなでしたことによって、自分のしていることを再確認して、やる気が高まるという流れは確かにある。

(井浦議長)

ワークショップから出てきた部分と、実際図になったときに違和感が出る感じだろうか。

(事務局)

例えば「個性」を「自分」という言葉にしたらどうか。

(砥上委員)

「個性を磨く」というのはまだ途中な感じがして、「充実」や自己実現という言葉とは違う。

(村山委員)

この「協働・共働」は、個人レベルで実現できるのか、人から褒められたり、認められたりして満足感を得るのか。

自己実現に向けてということだったら、「協働・共働」「充実」はそれに関わるような違う言葉に変えたほうがいいのでは。

(倉掛委員)

「協働・共働」と「つながり深まる」は違う感じがする。

「協働・共働」は共に働くとか、社会のために何かするものだけど、趣味でつながる場合は、行政や社会とは関係ない場合もある。

(事務局)

視点としてはシンプルに「つながり」でいいのではないか。

確かに「協働・共働」だと固いイメージなので「つながり」のほうがしっくりくる。

(井浦議長)

他の言葉はよろしいか。

(事務局)

資料(2)―②について。

事務局からの案です。

ご自宅でゆっくり読み返して頂きたい。

(井浦議長)

では、関連のところをもう一度見ていただいて、再度、資料4枚目のところに、文言としてご意見をいただければ。

(事務局)

この資料の(2)―②のところに、(1―(1))が書いてあるが、これが第2次計画の3章の柱の部分になっている。

赤で(新)と書いてあるのは、今回、新しく考えたものになっている。あくまで、イメージを持ってもらうための素案の部分になってくる。参考にさせていただきたい。

意見が出ている内容としては、4枚目のサイクルの中から「仕掛け」、を外して、背景か真ん中か土台がいずれかに持っていく。それから、「協働・共働」という文言を「つながり」という言葉に変えてみたらどうか。

それから、3番目の図のサイクルの、「個性を磨く」という言葉を「実感できる」、もしくは「充実できる」などの言葉に変えてみたらどうか。未定の部分としてはこの3点。

(井浦議長)

次回4枚目の文言について意見を考えてくるようお願いする。

3. その他

(1) 各委員から

(井浦議長)

年に2回社協情報という冊子が出版されており、次回、9月号に古賀市社会教育委員の活動として笑顔の集いと活動の紹介が9月号に掲載されますので是非ご覧いただきたい。

(2) 事務局から

- ◇ 令和6年度福岡ブロック社会教育委員研修会 実施要領(案)
- ◇ 福岡ブロック社会教育委員研修会 令和5年10月13日
- ◇ 九州ブロック社会教育委員研修会 令和5年11月9～10日

(3) 次回開催日程決め

- ◇ 8月17日(木) 18時30分から
リーパスプラザこが 103洋室

4. おわりの言葉

教習生の実習で小竹町に行ったのですが、学生が想像する力が難しいなと思った。

小竹町にどんな歴史があって、どんな生活をしてきたのだろうと想像することが難しいと実感した。

学生とともに知らない町を歩いてみると、自分たちの想像がつかない世界で彼女らも生きているのだなと実感した。

今日はお疲れ様でした。ありがとうございました。